



民主主義への道 10

理事長 千葉忠夫

・再びデンマークへー母の心はわが胸に住むー

デンマークの社会をより深く学び、母国のために役立ちたいと念じて帰国してから一年半が経ち、老父母と生活した故郷を離れた。認知症の進んだ母には「街に買い物に行ってくる」と言って別れたが、これが生きていた母への最後の言葉になってしまった。母は歌を好む人であったので私が初めて国を出るとき、昭和 42 年に詠んでくれた歌を今でも私は覚えている。

「無事祈る母の心は汝が胸に何時も住めるを常に忘るな」

「目的を果たして帰る其の日まで老父母も頑張りに待つ」

「車窓より射る如き瞳吾が胸に焼きつけゆきし吾が子はデンマークへ」

・保育園・幼稚園を統合した施設に勤務したー遊びを通して人づくりをー

再びデンマークに戻った私が最初に勤務したところはコペンハーゲン郊外にある保育園と幼稚園を統合した施設であった。内部の部屋は保育園児部門と幼稚園児部門とに分かれている。しかし、各々の部屋を出るとどちらの子供たちも一緒になり、ごちゃ混ぜになってしまう仕組みだ。

デンマークにおいては大体、保育園は 0 歳から 3 歳まで、幼稚園は 3 歳から 6 歳までとなっており、6 歳から 7 歳までの子供は国民学校に付属する幼稚園クラスに通う。

現在では、大部分の施設が保育園と幼稚園を統合している。施設には時間割りのようなものが無く、毎日の時間が成りゆきに任せて流れ、特にその日の天候にあわせて日課が組まれているようだ。おおよその時間の流れを記しておこう。

6 時～8 時 出勤する親に連れられて子供たちが集まる。朝食を食べていない子には朝食を与える。それ以外は自由に遊ばせる。

9 時～10 時 全員集まったところで歌を歌い、天候に合わせてその日何をやりたいかを子供たちと決める。

12 時～13 時 保育園児は全員お昼寝用の箱に入ったベッドで寝るのだが、悪天候と厳寒（零下 10 度くらい）以外の日は必ず屋外で昼寝させる。

デンマーク人があまり風邪を引かないのは小さい時からよく外気にあたって育つからではなかろうか。

幼稚園児でもお昼寝したい者は昼寝をするが、大体は屋外で遊ばせるか散歩に出かける。天気さえ良ければ努めて屋外に出して自由に遊ばせているのだ。

13 時～14 時 各々グループで絵を描いたり、工作、音楽、読書、ダンスをしたりなどさまざまな活動が行われる。

14 時～15 時 午後のおやつ。果物が出ることが多い。このおやつを食べているところからポツポツと子供たちを親が迎えに来る。職員は子供たちの送迎時に子供たちの親とよく情報を交換し合う。

15 時～17 時 残った子供たちは親が迎えに来るまで自由に遊ぶ。

就学前教育の場合は今まで家庭にいた子供が初めて接する社会である。それゆえ、早く社会の一員となる一番良い方法は遊びである。遊びを通して色々なことを教えることができる。すなわち、民主主義の個人の自由と責任、社会における連帯、共生、責任といったものを遊びから教えるのである。

・トルコ大地震に揺れた銀婚式

1999 年の 8 月 17 日トルコと黒海を挟んだ対岸のブルガリアで、我々の銀婚式にあたる日、午前 3 時に揺り動かされた。

「地震だ！」

「地震だ！」

とそばの Helle に叫んだのである。

しかし二度目に叫んだとき、何と地震という単語をデンマーク語で知っているにもかかわらず、Helle に日本語で叫んでいることに気付き、いたくデンマーク語にジシンを喪失した思いをしたものである。

この旅行からデンマークに戻った後、お互い外国人と結婚して 25 年もったことを記念して、私たちの結婚式に参加した人たちを招待して、銀婚式記念祝賀パーティーを行った。

・ポールもヴィンターも今は亡く

心残りは私がこうしてデンマークに生きて行く上で重要な役割を果たしてくれた人たち、養豚農家の農場主ポール、国民高等学校校長だったヴィンターが故人になってしまったことだ。

私は当時、無我夢中でデンマークに生きていた。生活することで精一杯だった。今日の自分が存在す

るのは彼らが支援してくれたためであると、ポールやヴィンター校長に証明したい気持ちで一杯であった。

・妻への感謝、ひたすらに

そして今日の自分があるのは、幼くして？私と結婚して（後注）私のわがままを不満ながらも我慢して受け入れてくれる妻がいるからと感謝している。もし彼女が当たり前のデンマーク人で、私の身勝手に同意しない人であったら25年後の8月17日、私たちの銀婚式という日は無かったであろう。他人に妻を紹介するとき「私の愚妻は…」とは言えない自分をしっかりと認識している。

留学生たちは「Helleは日本人以上に日本人だ」とよく言うが、日本人と結婚したことのない私には分からない部分もある。ともあれ、デンマーク人同士で結婚しても2組に1組は離婚する現代である。磁極のごとくマイナスとプラスが引き付け合っている夫婦が私たちかもしれない。

・時には夫婦で大喧嘩してスッキリ

もっとも、どちらがプラスでどちらがマイナスかと判定するときに及んでは、各々の国の教育、生活風習、家族関係、社会環境などなど大論争を巻き起こすのがいつものパターンである。論争というよりも大喧嘩といった方が正解かもしれない。

どちらもそうであるが、自分の思っていることを相手に全部吐き出してしまうとスッキリした元の生活に戻るのである。夫婦喧嘩の紹介にまで及んでしまったが、「思うこと言わざるは、腹膨るる業なり」と多分言ったと思うが、夫婦間で思っていることを完全にぶちまけてしまうと本当にスッキリするものである。これは仲直りのための薬になると思う。

・幼稚園に勤めて3ヵ月、知的障がい児童施設に応募した

幼稚園に勤めて3ヶ月目に、ある新聞広告で知的障がい者の子供の施設で、生活指導員を募集しているのを見つけたので応募した。いろいろな福祉分野のことを、実践として学びたかったからである。デンマーク人は平均して6回くらい転職するそうである。より処遇の良いそして自分が興味を持つ仕事の求人があれば応募するのである。私も見習って応募したのだ。

採用試験はなく、現在その施設に勤めている職員と所長による面接で決められるのであった。

・面接から一週間で採用通知がきた

何人かの応募者の中から書類選考を通過した者

がこの面接を受けることになる。CHIBAという名前がデンマーク人になく名前なので、書類選考で残され、面接されたのかもしれない。面接では私がなぜ知的障がい児の施設で働きたいのか問われ、いろいろな起こり得る問題にどう対処し、いかに問題を解決するかを聞かれた。

この面接から一週間も経たぬうちに電話で採用の通知が来たのには驚いた。新しい職場からの採用通知を受け取ると、直ちに現職の退職願を出すのだが、デンマークの社会に慣れていない私には、現職を辞めるということに少なからず後ろめたさを感じた。しかし、雇用者は慣れているのであまり嫌な顔もされずに収まったので安心した。

・ショートステイ、子供たちの日常生活の継続が大切

知的障がい児の入所施設といっても、私の場合はショートステイ用の施設であったので、収容可能人数も20人と小規模なものであった。ショートステイとは、障がい児を持つ親が冠婚葬祭、旅行、養育介護支援を休みたいときに子供を一日から一週間くらい預けられる施設である。預ける親の居住する地域が決まっているので、一年もすると、いつどの子が来るというおおよそのパターンが飲み込める。

私は生活指導をするソーシャルワーカーで、子供たちが家で生活していた日課をなるべく壊さないように日常生活を続けさせるのが任務だ。従って、保育園、幼稚園、学校など、毎日の生活が継続するように生活支援をするのである。当然、午後から就寝まであるいは週末それらの施設から帰って来る子供たちの生活支援が主な仕事である。

子供たちと宿題をやり、遊び、スポーツをし、散歩や買い物に行く、食事介助をする等々と目一杯の仕事である。子供たちの障害は知的障がい、身体障がい、自閉症とさまざまであった。（1970年代には自閉症の子供たちは知的障がいを持った子供と一緒に処遇していた。今では自閉症は自閉症という障害の分野で処遇されている。）

この手記は月刊「権利闘争」（権利問題研究会発行）にて連載されたものです。転載の許可をいただきました関係者の方々に感謝いたします。

後注 [結婚のとき Helle は 19 才 読者へのお詫び] 25

号で18才の女の子と結婚したと書いたが、結婚したとき Helle は19才が正しい。他人事みたいに述べているが、計算が合わない、私ではなく Helle に直接問い合わせた卒業生がいたそうなので公に訂正する。

現在デンマークの成人は18才以上。当時は20才以上であったので、いずれにしても未成年と結婚したことには変わりがないということになる。それにしてもお粗末でした。読者の皆さんに心からお詫び申し上げます。

ÆLDERÅD/SENIORRÅD (高齢者委員会) について

浸透した民主主義から、より発展した直接民主主義へ近づけるために、デンマークでは1995年、高齢者委員会を設置することが法令化され、1997年1月1日から各地方自治体(市町村に相当)に高齢者委員会が発足した。高齢者委員は4年に一度実施される統一地方選挙と同時に、高齢者委員候補者から選挙によって決定する。当該地方自治体に居住する60歳以上の者は選挙権、被選挙権を得、外国人永住居住者も同等の資格を有する。任期は4年で、委員の数は自治体の人口によって異なる。

2007年の地方自治体改革により、現在デンマークには98の地方自治体があり、それぞれの自治体に高齢者委員会が存在する。各自治体の代表の中から選出された中央の機関としてデンマーク高齢者委員会がある。

地方自治体の高齢者委員会は地方自治体議会に対する、高齢者政策に関する諮問機関となる。したがって中央のデンマーク高齢者委員会は中央政府の高齢者政策に対する諮問機関としての役割を持つ。

余談となるが、デンマーク語のÆLDRERÅDを直訳すると年寄りの会みたいで年寄りくさいと嫌う人もありSENIORRÅDと呼んだほうが高齢者委員会として適切であるとしている自治体もあり、この呼称のどちらを選ぶかは地方自治体によって自由である。

さて、私が在住している北フン島市NORDFYNS KOMMUNEは人口約3万人で地方自治体議員は25人、高齢者委員は11人選出されている。高齢者委員会は地方自治体に在住する高齢者の声を議会に届ける橋渡しの役目を担い①地自体の高齢者政策の充実と発展。②高齢者が抱える諸問題が議会で検討されているかを確認・助言するのが主目的である。

高齢者委員会の定例会議は3ヶ月に1回実施されるが、議会から高齢者政策に関する議題に関して、議決以前に必ず高齢者委員会に諮問されるので、その召集が結構頻繁になされる。高齢者委員会には決定権はないが、議会に対する大きな影響力を持つ。また地方自治体に存在する高齢者センター、アクティビティセンター等を監査する役目も持つ。

高齢者委員は無給だが、地方自治体議員と同様会議に掛かる時間給、交通費は支給される。

北フン島市 高齢者委員 千葉忠夫

会員から高齢者委員会や福祉の最先端について知りたいという要望があり執筆を依頼しました。

BOOKS BOOK5 BOOKS BOOK5

最近^{ヒュグ}Hygge というデンマーク語に惹かれています。デンマークの生活を考えるうえで無視できない言葉あるいは感覚ではないかと感じています。日本でもたくさんの本が出版されていますが、その中から私がかつて勝手に買って読んだまたは読もうとしている、千葉理事長の著作(はみんな知っていると思うので)以外の本を5冊紹介します。



世界一幸せな国、北欧デンマークのシンプルで豊かな暮らし 芳子ビューエル著 大和書房 2017年1,400円+税 ⇨ 北欧大手メーカーの日本代理店アペックス。北欧家具・照明器具の輸入、高崎の「インテリアショップALTO・カフェ」で北欧にまつわる料理や商品を日本に合わせた形で提案するアルト。両社の代表を務める著者の体験に基づく読み易い本。

クリスチャニア 自由の国に生きるデンマークの奇跡 清水香那(文)稲岡亜理子(写真) WAVE出版 2017年1,600円+税 ⇨ 40年近く前に訪れたクリスチャニアは絶えず緊張を強いられる場所だった。その歴史と、直接民主主義で運営されている現在とを住民へのインタビューを基に描いた面白い本。著者は次第にグルントヴィの思想に惹かれて行く。

あなたの子どもは、あなたの子どもではない デンマークの30年——仕事・結婚・子育て・老後 宮下孝美・宮下智美著 萌文社 2005年1,800円+税 ⇨ 出版の時点でデンマーク・ブロンビュー市在住30年以上になる宮下夫妻が、デンマークの労働実態、教育、福祉、人間関係などを、体験に基いてユーモアたっぷりに語る。楽しみながら、考えさせられる。

幸せってなんだっけ? 世界一幸福な国でのHyggeな1年 ヘレン・ラッセル著 鳴海深雪訳 CCCメディアハウス 2017年1,850円+税 ⇨ 英国版「マリ・エクレール」の編集者だった著者がデンマークで見つけたシンプルで豊かな生活。その1月から12月までを描き、デンマーク人の暮らし方や考え方を伝えてくれる。

女神フライアが愛した国 偉大な小国デンマークが示す未来 佐野利男著 東海大学出版部 2017年2,800円+税 ⇨ hyggeについて、ということではなく、デンマークの諸政策やデンマーク人のメンタリティについて、駐デンマーク特命全権大使を務めた著者が、日本のあるべき未来への指標として著した本。約180ページという薄さだが中身は濃い。

編集部 茂木俊郎

中国人学生

千葉忠夫

ここ数年ヨーロッパのどの地に旅しても中国人旅行者であふれている。時折仕事で帰国する日本の各地でも中国人旅行者に出会わないことは先ず無い。日本を追い抜いて世界第2の経済大国を作った中国人が世界を謳歌している姿は勇ましい。

その勇ましい人々の行動様式をそれとなく観察してみると彼らが帯同している持ち金の価値と彼らの社会思考、行動様式には大きな差があるように思える。爆買いは商店にとっては大歓迎だろうが、列を乱して我先と

爆買いの風景



商品に群がる、集団で大声を張り上げながら歩行する等は、周囲の者にとって大きな迷惑である。彼らが宿泊したホテルの従業員は、「彼らが去ったホテルの洗面代一杯にファーストフードの残り物があふれている」と言う。空港のタックスフリー手続きの窓口から長い行列が続いているが殆どが中国人である。

昨年から今年に掛けて Nordfyns Folkehøjskole には 150 人近くの中国人留学生が数回に分けて短期留学生として滞在していった。中国全土から集まってくる幼稚園教師たちである。私は毎回デンマークの民主主義の基盤を作った国民高等学校 Folkehøjskole での講義を依頼されるのだった。

幼児教育は国の大切な資源である人材育成のスタートであるので、デンマークでは人格育成のための就学前教育として大変力を注いでいる。デンマークの生活指導教諭は保育園児、幼稚園児から民主主義、即ち自由、平等、博愛（共生、連帯）を、園の日常生活を通して理解するように教えている。そういう話をした後で「皆さんのお国でも未来の中国のために是非デンマークの幼児教育から学ばれることを祈っています」という言葉で、私は講義を終わるのだった。

～Weekend Folkehøjskole in Kochi 第9回研修塾 in 高知 のお知らせ

2018年11月16日(金)～18日(日)に開きます。日本の福祉政策の破綻が避けられないなら、私たちが慌てないで済むにはどうすればよいか、皆さんと一緒に考えたいと思います。ぜひご参加ください。

会場：三翠園（高知市鷹匠町1-3-35）

講演会場：高知会館（高知市本町5-6-42）

講師：千葉忠夫さん 「幸せな国づくりへの方程式」

フォド スヴェンセンさん（社会省元事務次官補）

「社会福祉国家と介護保険国家の未来」

エヴァ スヴェンセンさん（生活指導教諭・施設

長） 「生活指導教諭養成の必要性」

募集人数：宿泊参加者 20～24名

17日の講演会のみ（75名）

参加費用：宿泊参加者 35,000円（会員32,000円）

懇親会だけ、一泊二日だけ、毎日日帰りで3日間参加、等の場合の参加費用はお問い合わせください。

申込締切：10月10日 締め切り日を過ぎても定員に余裕がある可能性がありますので、遠慮なくお問い合わせください。

問い合わせ先・申込先 前田正志（当NPO事務局長）

E-mail masashimaeda@hotmail.com

Fax. 0475-44-4310

2018年度デンマーク研究会

前号でお知らせした7月28日の会は、前日まで台風21号関東地方を直撃という情報が変わらなかったため残念ながら中止の決断をしました。次回以降の盛会を願っています。

2019年度総会の予定

NPO法人 日本・デンマーク生活研究所の2019年度総会を2019年5月25日に開催する予定です。会場、開催時刻等詳細は、会場の予約が済んだ後で改めてお知らせします。

編集後記 ★「記録的豪雨」が各地で頻発し、大型台風が幾つも上陸、大阪で、北海道で大地震が起こり、多くの犠牲者と被害を出した。★報道する映像を思いだすと今でも心が震える。★一方で猛暑・酷暑が列島を襲い、最高気温は記録更新を重ね、農家は水不足に泣いた。★大雨と干天による青果・葉物の高騰に都市部の消費者は苦しんだ。★この異常な夏が常態化するという恐ろしい予測もある。★それならば武器購入費を減らし自然災害から国民・国土を防衛する費用に充てよという投書を読んだ。その通りだと思う。★それにしても、ふと思ったのだが、毎年沖縄を襲う台風が「沖縄に上陸した」と言わないのは何故だろうか？（茂木）

発行所

〒292-0801

千葉県木更津市請西4-6-9

Tel & FAX : 0438-36-3565

お問合せ Tel : 090-9827-9262

茂木（もてき）俊郎

NPO法人ホームページ

<http://www.djsli.com>

メールマガジンの申し込みはホームページからお願いします。